




会社概要

ニールセン デジタル株式会社

<https://www.netratings.co.jp/>

業種：視聴動向調査、マーケティング事業

従業員数：

約 50 名 (2019 年 3 月末現在)

資本金：100 百万円 (2019 年 3 月末現在)

所在地：〒 107-0052 東京都港区赤坂
2-17-7 赤坂溜池タワー 11 階

事業内容：

ニールセン デジタル株式会社は米ニールセンの消費者視聴行動分析部門の日本法人として、視聴者分析と広告分析のソリューションを通じて、お客様のビジネスにおける重要な意思決定を支援するデータ、分析、インサイトを提供しています。製品やサービス、および分析結果のインサイトについては、広告主企業、メディア運営企業、E コマース企業、広告会社より高い評価をいただいています。ニールセン デジタル株式会社のサービス概要、および会社概要は www.netratings.co.jp でご覧いただけます。

導入製品

導入時期：2018 年

導入製品：

Tableau Creator / Explorer / Viewer

ライセンス数：数百

主な利用環境：Nielsen NetView/Nielsen Mobile NetView

導入に要した期間：約 3 か月

顧客向けデータレポートサービスにTableauを導入 探索的なデータ分析の時間短縮で洞察の時間確保が容易に

Before 導入前の課題

オンライン利用動向調査サービス「Nielsen NetView」「Nielsen Mobile NetView」を独自開発の GUI で顧客に提供していたが、多岐にわたる指標やレポートを提供しているために、顧客固有のニーズに対し直感的でない部分や、レポート抽出プロセスが複雑になるケースがみられた。

After 導入後の効果

レポートを出すまでのプロセスが大幅に短縮され、データの切り口も簡単に変更できるようになったことで探索的なデータ分析が容易になり、洞察に使える時間を確保しやすくなる等、顧客固有のニーズに対する利便性が向上した。また直感的に理解できるチャートを動的に表示することで、データ分析の専門家でなくてもデータを活用しやすくなり、ユーザーの幅も拡大した。

導入の背景

インターネットを中心に消費者のデジタルデータを収集することで、消費者の動向を明らかにし続けているニールセン デジタル株式会社。インターネット視聴率データは「Nielsen NetView」、モバイルの視聴率データは「Nielsen Mobile NetView」というサービスでレポート化し、顧客に提供しています。日本でも数多くの企業のマーケティングやメディアプランナーが、これらのサービスを活用した消費者分析を行っています。

「従来はこれらを、自社で構築した Web サービスとして提供していました」と語るのは、ニールセン デジタル セールス & アナリティクスでカスタム アナリティクス アソシエイトディレクターを務める中川 勝文氏。そして従来のサービスには、ユーザーインターフェースに関して大きく 3 つの課題があったと言います。

第 1 はビジュアライゼーション。従来のサービスはレポートを数表の形で表示しており、チャートを使った分析画面が少なかったため、利用者の多くはレポートを CSV 等の形でエクスポートし、Excel などを使って分析していました。

第 2 はレスポンススピード。レポートを作成するまでに、複雑でデータ量の多いものだと時間がかかるケースがありました。

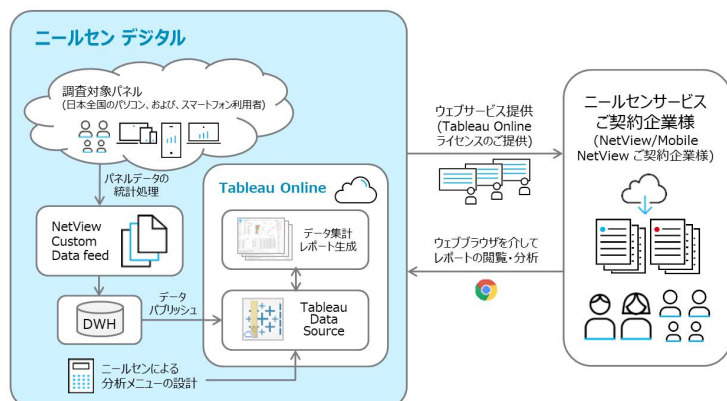
そして第 3 がインタラクティブ性です。膨大なデータに対応するためにメニューが階層構造になっており、データの切り口を替えたレポートを作成したい場合には、複数の作業ステップ画面を経由するケースがありました。

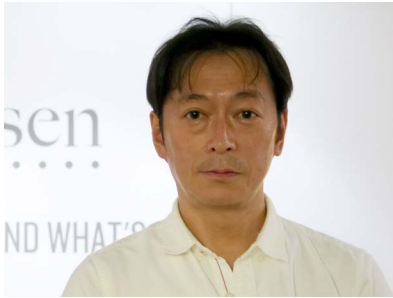
「そのため探索的なデータ分析をスピーディに行うことが困難でした。当社のデータ品質は第三者機関としての代表性・透明性といった点でお客様から高いご評価をいただいておりますが、それを使いこなすにはそれなりの手順が必要という状況だったのです。また直感的に理解できる画面が限られていることで、ユーザー層もデータ分析に慣れたリサーチャー、マーケティングの専門家が中心でした。」

Tableau 導入・運用環境

これらの課題を解決するための手段として、同社が着目したのが Tableau でした。そのきっかけとなったのは 2017 年頃、複数の営業担当者と交わした会話だったと中川氏は振り返ります。

「訪問した客先で、エクスポートしたレポートを Tableau で分析しているのを見た営業担当者が『すこいも





お客様プロフィール

お名前: 中川 勝文 様

役職: カスタム アナリティクス アソシエイト
ディレクター

部門名:

セールス&アナリティクス

主な担当業務:

クライアント向け分析レポートの開発・運用。
1992年 ソフトバンク(株)に入社、2000年 ネットレイティングス(株)の入社を経て現在はニールセン デジタル(株)で「オンライン利用動向データ」のレポート開発・運用に従事。

Tableauについての質問

Q1. Tableau で感動したことは？

「データソースを変更するだけですぐにグラフが書き換わる、高いインタラクティブ性です。私が社会人になりたてだった頃、Windows 3.1の表計算ソフトで関数の自動計算を体験した時の驚き、感動が蘇りました」

Q2. Tableau 導入後の変化は？

「探索的なデータ分析作業を短時間で、容易に行えるようになりました。純粋な「作業の時間」が減ったことで、洞察に使う時間を確保しやすくなった結果、データからファインディングを得やすい分析環境をお客様に提供できるようになりました」

Q3. Tableau でしたいことは？

「すでにお客様から機能面での改良などのご要望を数多く頂いておりますので、まずはこれらの対応を着実に進め、サービス内容をより充実させていきたいと考えています。また「Nielsen NetView」や「Nielsen Mobile NetView」以外にも Tableau の活用を広げることで、お客様にとってより使いやすいサービスを提供できるのではないかと考えています」

のを見た』と語るのを聞き、当社のサービスに Tableau を組み込むのはどうだろうかと考えました。特定の条件で整理されたレポートのデータではなく、その大本になる生データを Tableau で分析できれば、より多様な分析が可能になると直感したのです。

また 2017 年 12 月には、レポートを Tableau で提供してほしいという商談も発生。これに対応するため、2018 年 2 月に社内で Tableau を小規模導入し、顧客向けデータレポートで利用できるか否かの検証が進められていきます。そして 2018 年 4 月には、Tableau を活用したインタラクティブなレポートの納品を実現するのです。

この成功を機に「Nielsen NetView」「Nielsen Mobile NetView」への Tableau 導入を正式決定。2018 年 5 月には「ネット視聴率データを Tableau を介して提供開始」のプレスリリースも行っています。その後、データソースの整備やワークブックの作成、オペレーション基盤の構築など、Tableau の本格提供に向けた準備を推進。2019 年 3 月に Tableau Online によるサービス提供を開始しています。

Tableau 選定の理由

Tableau の選定で重要な役割を果たしたのは、導入決定前の顧客調査でした。同社のサービスを利用している顧客を対象に、エクスポートしたレポートの分析ツールを調べた結果、Tableau を利用している企業の割合が最も多かったのです。

また世界中に数多くのユーザーがいるため、インターネットで関連情報を集めやすいことも、大きなメリットだと評価されています。検索すればユーザーの試行錯誤の事例を多数見つけることができるため、壁にぶつかったときにも乗り越えやすいと判断されました。

さらに、機能改善の開発速度が早いことも重視されました。現時点ではできないこと、あるいは実施が難しいことでも、近い将来には可能になると期待されたのです。

Tableau 導入効果

Tableau の導入によって、前述の 3 つの課題は以下のように解決されました。

ビジュアライゼーション

数表だけではなく、動的で効果的な複数のチャートを提供できるようになりました。これによってレポート内容を、直感的に理解しやすくなっています。

レスポンススピード

レポートの描画速度が向上し、作業の待ち時間が大幅に短縮されたことで、ユーザーの作業ストレスも軽減しています。

インタラクティブ性

デモグラフィック情報などのデータ区分を、同一画面で簡単に切り替えられるようになりました。これによって探索的なデータ分析を簡単かつスピーディに行うことが可能になり、データから新たな知見を発見しやすい環境がより整備されました。

「これらの改善はお客様から高く評価されており、数多くのポジティブなフィードバックをいただいています」と中川氏。また「Tableau ならこのようなこともできるのでは?」といった問い合わせや、追加機能の要望も数多く寄せられていると語ります。

ユーザーの利用頻度も向上しています。従来は定例レポートのため特定の時期にデータをエクスポートするといった使い方が主流でしたが、Tableau 導入後は日常的に使うユーザーが増えているのです。理解しやすいチャートが短時間で得られるため、ちょっとしたデータ確認も手軽に行えるからです。

理解しやすいチャートの提供は、ユーザー層の拡大にも貢献しています。ブランディングやマーケティングの担当者だけでなく、営業担当者にも利用してもらうため、契約ライセンス数が一気に増大したケースもあると言います。

今後の展開について

「すでにお客様から数多くのご要望をいただいているので、まずはこれらへの対応を着実に進めていき、サービス内容をより充実させたいと考えています」と中川氏。多くの顧客に共通する要望に対応する一方で、2019 年 6 月からは個別要望にも対応し始めていると語ります。「このような対応はお客様からも喜ばれており、『新機能に感動した』『これなら社内展開もしやすい』といった声も頂戴しています」。

現在は従来型の Web サービスと Tableau が混在していますが、今後は Tableau によるレポート提供に一本化していく計画です。また「Nielsen NetView」「Nielsen Mobile NetView」以外のサービスで Tableau を活用することも検討。これによってより使いやすいサービス提供が可能になると期待されています。

無料トライアル版をダウンロードして、ぜひ Tableau をお試しください。

<http://www.tableau.com/ja-jp/trial>

Tableau Japan 株式会社 (Email: japan@tableau.com)